

参加費
無料!

保育あり
保育ルーム設置

市民公開フォーラム

子育て支援としての 病児保育

～保育園に入園した子どもへの
安心・安全サポートをめざして～



保育園へ入園する子どもたちが増えています。保育園は心と身体を育む集団生活の場です。入園すると最初は何度も風邪などの感染症にかかりますが、子どもは免疫をつくりながら丈夫になっていきます。子どもが急に熱をだした時は、保護者のどちらかが休んで子どもを看護できる社会の理解が重要です。

しかし、日本の現状においては、子どもが病気の時にいつも看護休暇が取得できる職場は限られています。看護休暇の普及啓発の取組とともに、親が休めない時に親に代わって、子どもに無理をさせず、体調にあわせた看護ケアを行い、回復を促す病児保育について、皆様と共に考えるフォーラムです。

医療職、保育関係の方に関わらず、関心のある方ならどなたでもご参加いただけます。

日時 平成26年7月20日(日) 15:30～17:00
会場 きゅりあん1階小ホール(品川区立総合区民会館)

パネルディスカッション

司会：京都府立医科大学 小児科学教室 講師 三沢 あき子 氏

内
容

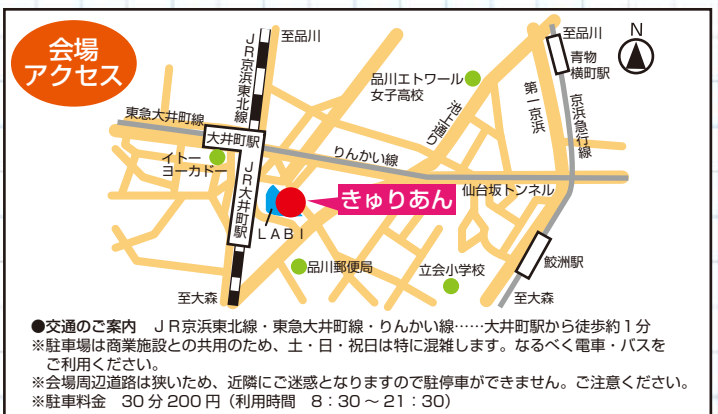
- ① 保育園の現場から 日本保育園保健協議会 会長 遠藤 郁夫 氏
- ② 病児保育の現場から 全国病児保育協議会 会長 稲見 誠 氏
- ③ 子育てと仕事を両立する親を支援するNPOの立場から NPOせたがや子育てネット 代表 松田 妙子 氏
- ④ 行政の立場から 東京都福祉保健局 保育支援課長 花本 由紀 氏

申
込
方
法

氏名(フリガナ)、所属名(よろしければ)、連絡先(TEL、E-mail)、保育希望の方はお子さんの氏名と年齢を明記の上、メールにてお申込みください。定員250名になり次第締切ります。

申し込み先 E-mail hoiku@koto.kpu-m.ac.jp

保育について 事前申込が必要です。7月1日(火)まで。
※定員数に達した場合、期日内でもお申込をお受けできませんので、ご了承ください。



主催 厚生労働科学研究(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)
病児・病後児保育の実態把握と質向上に関する研究班

後援(予定) 全国病児保育協議会
日本保育園保健協議会、全国保育園保健師看護師連絡会、東京都、世田谷区

お問合せ先 京都府立医科大学 男女共同参画推進センター E-mail: hoiku@koto.kpu-m.ac.jp
TEL: 075-251-5165 (月・水・金の9:00～15:00)